



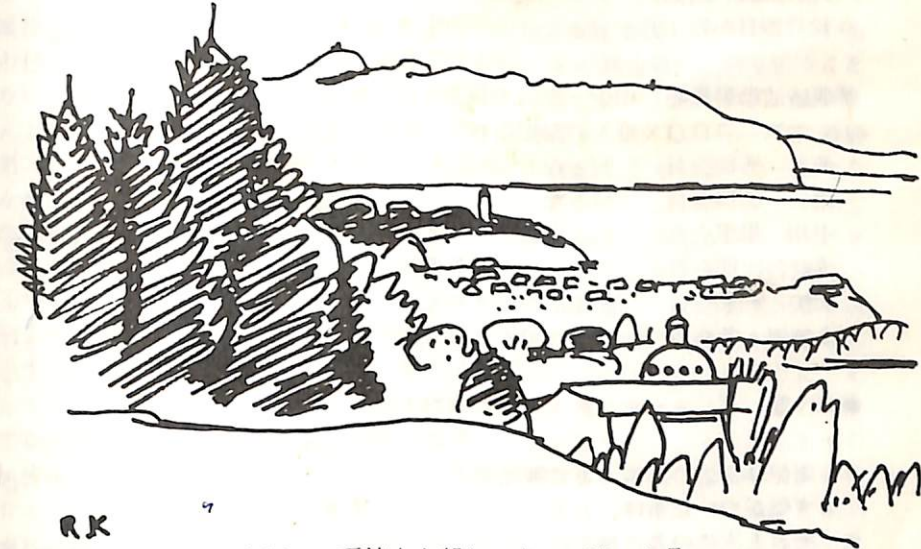
REACH OUT...

手をさし伸べよう...

(R.I. 会長 クレム・レヌーフ)

第728回例会

1978-1979 第24号 1978.12.13



当別より函館山を望む 角谷 隆一会員

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

“ジャーナリストの見た函館”
毎日新聞函館支局長 森島 定雄氏

第727回例会記録

- ◎司会 高杉 重雄会長
- ◎ビジター 函館 R.C. 相馬 哲平君他10名 函館東 R.C. 今 麒一郎君 五稜郭 R.C. 村田 栄司君他2名
- ◎ゲスト 朝日新聞函館支局長 宮崎 千勝氏
- ◎斉唱 君が代・奉仕の理想

量の内訳は、ガス灯用47%、燃料用37%、ガスエンジン16%

- ◎大正初期から大正時代を通じ、タグステン電球又は、性能のよいモーターの普及が急速に進み、もっぱらガスは燃料として使われる。
- ◎大正10年以降は、燃料として現在迄使用される。
- ◎昭和12年軍需産業が盛んとなり、ガスは工業用燃料として大量に使われた。
- ◎昭和17年戦争激化により原料不足から、ガスは軍需産業優先となり、家庭用は炊事用以外は使用禁止され、消費抑制のため電気ガス税が新たに課せられた。
- ◎昭和24年使用制限は、全面的解除された。
D、ガス原料の変遷
- ◎ガス事業の創業から昭和34年頃までの90年間ガスの原料は、石炭が大部分であったが、34年~40年の間にガスの原料は天然ガス、原油、ナフサ、LPG等に転換した。函館は、昭和37年にナフサに転換しオフガスを導入し、現在の混入約50%である。
- ◎道内ガス事業者使用原料は、殆んどがナフサ使用であるが地域的特徴により
釧路ガス-ナフサと坑内ガスとLPG
室蘭ガス-購入石炭ガスとLP
長万部ガス-ナフサガスと天然ガスとLP
北見ガス-ナフサガスとじんかい処理ガスとLP
新函ガス-ナフサとオフガス

◎出席報告

会員数	73名	出席率	函館北(11/22)	95.83%
出席	46名		函館東(11/14)	97.83%
欠席	27名		函館(11/16)	94.07%
他クラブ出席	23名		函館五稜郭(11/17)	100.00%
出席合計	69名		亀田(11/13)	86.84%
出席除外者	1名			

次回例会日 12月13日

プログラム “ジャーナリストの見た函館2”
毎日新聞函館支局長 森島 定雄氏

◎幹事報告 西巻 秀樹幹事

○函館五クラブで12月19日より23日までの間に家族クリスマスパーティが行われますが、その日程をお知らせ致します。

- 12月19日 亀田ロータリークラブ ホテルオークランドで6時より
- ” 東ロータリークラブ ロイヤルホテルで6時より
- 12月22日 北ロータリークラブ 国際ホテルで6時より
- ” 五稜郭ロータリークラブ ロイヤルホテルで6時より
- 12月23日 函館ロータリークラブ 五嶋軒駅前支店で6時より

○12月29日から1月3日まではロータリークラブの行事はお休み致します。

◎親睦活動委員会 田中 幸一委員長

ニコニコBOX投入のお知らせ

- 西巻 秀樹会員 何となく
- 南 宏国会員 何となく
- 中川 州平会員 南北海道アルバイト情報誌12月4日新発売致しました。
- 成沢善次郎会員 ホームクラブ欠席がちの御詫び
- 大江 利和会員 新聞にのりました。
- 小笠原 孝会員 道議会でがんばります。

◎卓 話 「ジャーナリストの見た函館」

朝日新聞函館支局長 宮崎 千勝氏

函館は夜景の素晴らしさで観光地として有名でございますが、いろいろの面ですぐ気がついた事は、PRのなさが伺われます。

それと大人の為の施設は、数多く見られますが、子供と共に楽しむ為の施設が見られない、との宮崎氏からの函館の感想を聞きまして、普段頭の中では考えている事なのですが、やはり他の地を歩かれた方に指摘されますと、私達で改善していかなければならない問題が数多くのこされているのではないかと思います。

★次期の理事7名が選出されました。氏名は次の通りです。

- 平 野 義 勝 会員
- 岩 塚 陽 一 会員
- 角 谷 隆 一 会員
- 森 秀 樹 会員
- 北 条 澄 雄 会員
- 斎 藤 紀 一 会員
- 安 藤 勝 見 会員

談話室



◎「最近感じたこと」

私がR.C.に入会したのは45年3月頃だったと思う、8年、早いものだ、会員数も40名少し位だったなァー、今ではメンバーも73名、ずい分と増えたもので、最近何んとなくさえない、これは一体何んだらう一人増え、2人増えしているうちに自分も先輩、先輩と云われ何んとなくいい気分になった様でついつい流れ流れて、調子づいたと云うか、そんなところだ、新入り当時は、あっち向いてハイ、こっち向いてハイ、何でもハイハイだったし、先輩も本当に良く指導もしてくれたものだ。「自分の仕事を通じて地域社会に奉仕すること」こそがR.C.に於ける奉仕活動の基本とも申されている己の仕事を懸命にやることが奉仕の基本であれば、私の場合特に、何も云うこともないし問題とするところはないはずなのに、一言や二言で云われぬ、いわゆる何んとなく、つまらないと云うか、きまらない、調度ゴルフで云うと、別に特別に悪いショットでないが何んとなく不本意で、全体的にきまらない、そんなふうな奴だ。

新入時代の水曜日、クラブの例会のある日ですよと彼女に教えられ、ジーパンをはいて建築現場廻りをしてても時計をみては、きちんと、ネクタイをしめて、ズボンもとりかえて、あわてて例会場につけたものだ、時には自家用車を店においてタクシーをつかったことも何度かあったっけ、実にマジメなかわいらしい小学生の様な、今ではどうだろう、時間的にだめだ、では今回はさぼりだ、となってしまう。メイクアップはしなければいけない、友に阻して、どこかのクラブで夜間例会のところはないか！ など聞いてまわる有様で、しらずしらずの内に自分がマンネリになってしまっているのだなァーと感じる、R.C. がいやになってしまったのだろうか、と自分に聞いてみると、いやそうではないんだがと自分に答えている、では体調をくずして、何んとなくけだるい時があるが(風邪気味で何んとなくボヤーとしている時)、そんなような気持、R.C. に対して、つかれた、と云ったらいいのだろうか、何んとも心と頭が今ツピリットしたところがない様だ、大先輩の皆さん！ そんなことに出逢ったことはありませんか…いや、いやそんなことを感じるのは私だけだろうか……

入会時、当時30才だったなァー、ロータリーのバッヂをつけて、設計士や内装者あるいは建築屋さん廻りをしていて、よく云われた言葉「若いのにロータリーなどに入って君にとって何かいいことでもあるの！聞けば、お金は掛るし、時間はいるし」(今では随分と、各方面でR.C.も理解されているが) /である。私は大先輩の言葉をかりて云う、いえいえ、たしかにその様に云われ、大変誤り伝えられている様だ、けれども、私個人としては確かに年間10万程の会費を出してはいるが、自分の仕事以外のこと、いろいろな方面でのお話を聞かしていただくと云うことは、ものすごくプラスになっているよ！ それはお金にかえられないことだし、いろいろな人々のお話を聞くことは、本を読むことは好きな方だが、ず

い分と時間がかかる、しかし、日々の行動からしても、それぞれの専門分野のお話、趣味のお話、聞く学問、それは、それは私にとって大きな進歩である！そして又、「自分一人では何も出来ないけれど、クラブのメンバーはじめR.C.の世界的な大きな輪の一つの中では私も仕事を通して地域、世界社会に奉仕出来る！」と力説したものだ。

そのお話であるが、例会に於ける一番の楽しみは、今日の卓話は、だれが、どんなお話を、である。話し方、上手であれば、そうでないもあり、だが、それは問題外であり、内容である、聞いてもらうために語っている。私も最後迄聞くことにしている。本を読むより、わすれることは耳学は多いけれど語る人の身になって耳をかたむければ、結構耳に残るものである。聞く方の態度だけれども、以前は随分と態度の悪い奴がいて、喰うだけ喰えば、何をしゃべっているが、べちゃ、べちゃ、モソ、モソ、年中しゃべってるさい奴がいたもんだ(そんな連中て奴は、自分の職場でも家でも、自分の云うことを聞いてくれる社員や家族はないはずだ、それなのに自分の云うのを聞いてくれないとすごいけんまくで、どなったりするものでね)。

最近では会員も73名と云う大人数になったが、卓話者に対する態度は大変良くなった、時々寝てる奴がいるが、寝てる分には、おしゃべりよりはましである。プログラム委員会の皆さんに大変御苦勞をかけている、楽しい話、本当にためになる話を有難とうと云う感謝の意を示すためにも、立派な態度で最後迄聞いて、終りには大きな拍手を(こんなことは我家の幼ない娘でもわかることで、ごくあたり前のことなんだが)。

それにしても、そんな態度を何んとかく誘惑しているビジターがいる様で、ひさしぶりに親しくしている彼に逢えたと云うことで、どんどん話かける、いつもよく来る人で、絶対に喰うだけ喰ったら俺は帰る、何が何んど云う人もいるあの人はいったい何んだらうと思う、その人が帰るとひきずられる様にして2人も3人も帰ってしまう。一回や二回ならいいが毎度である。そんな態度のメンバーは当クラブにはいないだろうか、特に良くホームクラブを休んでビジターとして出掛けてる人の中で……。よく来てくださるのは良いが絶対最後迄いない人そんなになると一体出席のための穴うめだけ、それだけで100%なら意味のない100%だ。

最近私達若者は食事のことはわすれてると云うが、あーだこうだと云わなくなったが、あきらめてしまったのだろうか！一週間に一度の昼食、例会のあとにラーメンかソバを喰う、やがては老人になるのだから今からたえることになれなければならないのだから、12時半からの例会に12時5分頃迄会場の駐車場に行かなければ、車の駐車が出来ないことも、みなさんはあきらめてしまったのだろうか！ここで例会場のことを今一度考えてみてはどうだろう。云われ、云っている内がいいさ、云われなくなった時は、相手にされていないか、死ぬ時だ。

皆さんどうですか！あゝしたらいいと思う、こんな面で気がついたところがあるから、こうしてみてはどうでしょう、それぞれ何かあると思うのだが、思ってもそれぞれどうしてと考えているのではないだろうか！そんな機会がないと云えないね！クラブフォーラムを開催すれば良い。

フォーラムと云えば、先般の夜間例会をかねたアッセンブリーだが、あれはただけに思う、夜間例会は、時には場所をかえて、会員相互のコミュニケーションの場にして多めに結構、余裕あれば月に1回づつでもいいと思っている、30分の時間で、国際、社会、職業、青少年、はじめクラブ奉仕の各委員会の前期活動報告及び後期の活動計画うんぬんとしたところでどうなるものでもない、ある委員会は、何にもありません、してません、しかし、ある委員会は又、あれもこれもこれも、7分も8分も発表事項があるかもしれない、それなのにごくかんたんに、時間が無いからでは、はじめからそんな無駄な時間作りしか出来ないからやらなければ良い、少なくとも、1時間や1時間半ぐらいははじめからかかるものとしなければ、開けば良い、やれば良いと云うものではないはずだ、私は、家に帰って御飯を喰うに少し早い、と云うこともあって5時3分位前に会場に行ったが、受付の部屋がアッセンブリーの会場になってたが、そのまますわりつづけ、オブザーバーとして耳をかたむけていたが、大変おそまつである。情報委員会の主催の炉辺会合なのか、地区年次大会の準備委員会としての提案会なのか、入りまじってしまっていた。学校のテストにしても、キチンとしたテーマあり、それに対して答なり自分の案を出す。又、スポーツ(球技)にしてもルールがあってそれにのっとなって行われるものである。野球もやり、サッカーもやりでは、一つの球場で2つも3つも一緒に出来るわけがない、あれもこれも山積された事が多ければ多い程、キチンと整理してからやらねばならぬことだと考える。はやる心をおさえて一ツツツ整理してはどうか。来る年の大会準備は、大会長はじめ実行委員長、会長、幹事だけでなく、我がクラブは無論在函クラブ、分区全体のことだ、ホストクラブだけの問題ではない。懇親会の席で、各方面から案を提出と云うことで多くの案が出されたが、一回ですむことではないので、酒をぬきにして回をかきねて案を出して、更にまとめに入って行ったらいいと考える。

地区大会は、R.C.の最大の行事であって、更にオマツリである。マツリにはお金がかかる。その掛かるお金をおさえにおさえ、立派な大会にしなければならぬとすれば、数多くのアイデアの先取りである。機会があるたびにアイデアの提出に力を入れなければいけないと思う。……………

昨日、谷地頭町のある工務店の事務所で、函館R.C.の元会長石塚彌一郎氏と偶然にもお会いした。氏とは以前、幹事をしてた時、会長が駒井幸一大先輩の頃良く在函5クラブ会長・幹事会でよく顔合せの機会があったものだから、ひさしくR.C.のお話になり、北R.C.さんのところも、来年は地区大会のホストで何んやかんやと大変ですね、と云うお話、日頃考えていることや、特に大会に於ける役



割のゴルフのことや、記録のことについてお話した。ゴルフにしては約200名位の参加として、数多くのゴルフ場はあるがどこのコースがいいか立派な全国一と云うのもあるがお金を一流、キャデー人数、と云ったその他、何んと云ってもお金の問題、又記録にしても、今迄の地区大会記録をみても内容はほとんど一緒、各分科会に於ける質議応答、アドバイザーの意見、ただ出来上ったブックが立派か(お金がかかっているかどうかの差)だけである。一応今回は、いつもの週報のスタイルで、毎週分まとめて印刷をした、と云った様なもので私はいいと思うのですが、と云うと、それでいんです。スタイルがいいから出来た色がきれいだから、どうだからの問題ではないよ君、と云う、それ以外にもいろんな意見をいただきました。さすがR.Cの大先輩だけあって自分達のことの様に心配して下さっている、本当のロータリーの精神は、かくあらねばと今更の様に考えさせられる。

私達の会報委員会は、委員長=保坂昌一会員はじめ、それぞれの役目を懸命になっているが、今年度、五クラブのメンバーも含め、特にビジターが多いが、各テーブルに一つや二つに必ずのっている。例会終了後、それをみるととき更に不愉快である。わすれていったのだろうか、更にはこんな内容のものを!と書いていったのだろうか、いずれにせよ、元会長なり幹事なり、或は又、会報委員会に属したことのない方々なのだろう、こんなスタイル、こんな内容と申せ、ロータリー精神に大いにかけると思う、当クラブのメンバーの方々、我々会報委員会の私達を思うとき、他クラブに出席のときは、読まなくてもいいからわすれて来ることのない様に、そのクラブにも同様に会報委員会の人々がいるのだから……。

(1978.11.28 M.YOSHI)

(以下次号へ)

◎出席報告

会員数	73名	出 席 率	函館北(11/29)	100.00%
出席	52名		函館東(11/21)	97.83%
欠席	21名		函館(11/23)	休日休会%
他クラブ出席	20名		函館五稜郭(11/24)	100.00%
出席合計	72名		亀田(11/20)	86.84%
出席除外者	1名			

次回例会日 12月22日

プログラム クリスマス家族会

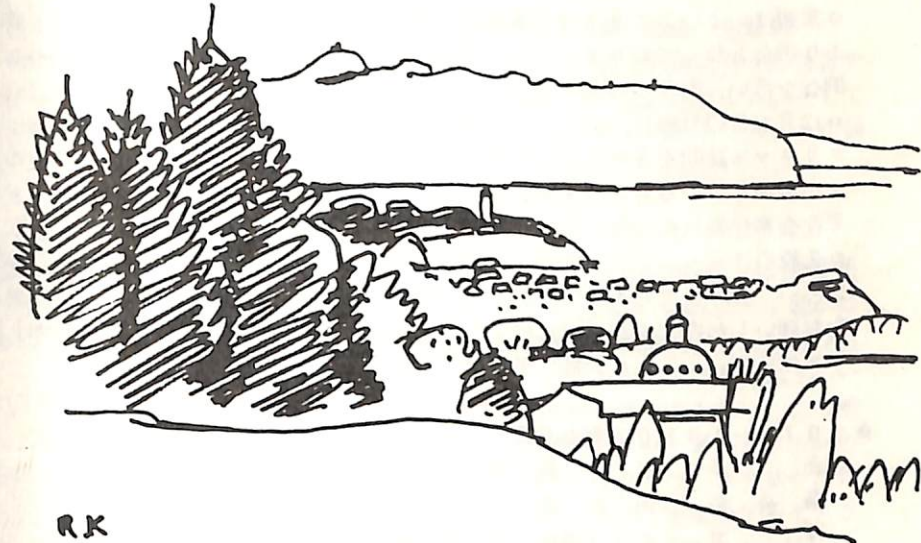
REACH OUT...

手をさし伸べよう...

(R.I. 会長 クレム・レヌーフ)

第729回例会

1978-1979 第25号 1978.12.22



RK

当別より函館山を望む 角谷 隆一会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

クリスマス家族会

第728回例会記録

- ◎司会 高杉重雄会長
- ◎斉唱 それでこそロータリー
- ◎ビジター 函館R.C. 金子由雄君他2名 東R.C. 日下部一博君他2名
五稜郭R.C. 小川享君他2名 亀田R.C. 帰山一彌君
- ◎ゲスト 毎日新聞函館支局長 森島定雄氏